

平成26年4月6日
開幕戦のベストショット



青松園A 第1試合 ライナーズ鳥越選手1安打完封！圧巻のピッチング！

塩浜ジャガーズ（1敗）0000000 0 内田●ー堀内

雁ノ巣ライナーズ（1勝）300410× 8 鳥越○ー竹上

2BH：中口、宇野、明瀬（旭）（雁ノ巣） 盗塁：田中（塩浜ジ）

一回表、塩浜ジャガーズの攻撃。三番竹尾選手が高めに浮いた球を逃さずライト前に運び出塁するが、後続が倒れ先制のチャンスを出す。その裏、雁ノ巣ライナーズの仲良し兄弟二人が安打とデッドボールで出塁すると、ワイルドピッチで今シーズン初得点を挙げる。また三番中口選手のタイムリーツーベースも飛び出しこの回3点を奪った。二回表ジャガーズは、調子を取り戻した鳥越選手を打ちきれず三者凡退に終わる。試合が動いたのは四回裏ライナーズの攻撃、池内（史）選手が内野安打で出塁すると、一番明瀬（航）選手もエラーで出塁する。続く兄、明瀬（旭）選手が二塁打を放つなど4点を追加した。こうなるとノリノリ鳥越投手。低めに抑えた球でジャガーズ打線を1安打完封に抑え、圧巻のピッチングを見せつけた。四月の始めとはいえ風が強く、体の冷えるコンディションの悪い中でのゲームだったが、両チームとも元気あふれるプレーで、見ている者の心が温まるゲームだった。これから暖かくなるとは思います、全チーム怪我をせずに今シーズンも和白リーグを盛り上げていきましょう！（写真、記事：三苦ホーネッツ 洲上祥太）



打倒ライナーズのジャガーズを1安打シャットアウトの鳥越投手。



五回裏センター前タイムリーを放つライナーズ中口選手。



流石に寒かったジャガーズ監督ツルさん。



寒い中半袖で頑張られたジャガーズ稲富選手。



あわやカメラ直撃！橋村選手の打球。



開幕戦の健闘を讃え合う両チーム。



寒い中応援に駆けつけた美女とライナーズ岩崎監督。

青松園B 前年王者なんとか逃げ切る。

ソルトベスターズ（1敗）0020200 4 中村（耕）●一酒井

奈多サンデーズ（1勝）220100× 5 塚本○ー長濱

HR：八柄（ソルト）3BH：秋山（奈多サ）中村（健）（ソルト）2BH：長濱（奈多サ）

盗塁：田中（奈多サ）八柄（ソルト）

前年王者の奈多サンデーズに挑むソルトベスターズだったが初回は簡単に三者凡退してしまう。対するサンデーズは相手のエラーで出塁した走者を三番秋山、四番田中選手のタイムリーできっちり返し2点を先制する。

二回裏には長濱、野田選手がヒットで出塁すると再び秋山、田中両選手が走者をホームに返すヒットを放ってさらに2点を加え優位に試合を進めた。なんとか反撃したいソルトは三回表エラーとヒットで出塁した走者を二番八柄選手、三番森（哲）選手の連打で2点を返し4番田中（広）選手だったがダブルプレイでチャンスを逸してしまう。サンデーズに1点追加されたソルトは五回表二死から1番中村（健）選手がライトへ三塁打を放つと送球エラーも重なり一気にホームへ戻ってくる。更に続く八柄選手はレフトオーバーの当たりを放ち快足を飛ばし今季第1号の本塁打とする。最終七回表先頭に監督真弓選手の代打俺登場でセンター前ヒット。続く1番中村（健）選手もレフト前ヒットとつながったがその後が続けず試合終了となった。試合には敗れたがソルトとしては最後の最後まで攻め続け次につながる戦いだだった。開幕戦勝利を飾ったサンデーズは前半こそ打線が機能したが後半は簡単にアウトを重ねる印象はあったが、そこはさすがに守るべき所はしっかり守った事が勝利につながった。
 (記事：新町ウインズ 野中一史、写真：城戸和裕)



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



ソルトベイスターズ先発の中村(耕)投手。



右中間を破る先制タイムリー三塁打を放った秋山選手。



パスボールでホームに還るソルト中村(祐)選手。



三塁打を放ち返球が逸れホームに還る中村(健)選手。



レフトオーバーのホームランを放った八柄選手。

青松園A 第二試合 緊迫の投手戦はホーネッツに凱歌！

三苫ホーネッツ（1勝）2001000 3 井手○、矢野ー広木

新町ウインズ（1敗）0000001 1 藤田●ー今林

HR：広木（三苫ホ） 3BH：永島（三苫ホ） 2BH：隈崎、広木（三苫ホ） 大久保（新町ウ）

新町ウインズの藤田投手はいつもと同様に立ち上がりから抜群の球威を披露する。しかし内野安打の走者をおいて、ホーネッツの四番広木選手に本塁打を浴びてしまう。逆風をものともしない鋭い本塁打にホーネッツベンチが初回から盛り上がりを見せる。ウインズも初回に連打を見せるが、井手投手の前に後続が続かない。一方のホーネッツは四回に内野安打と隙のない走塁、適時打で大きな追加点を挙げる事に成功し、矢野投手への継投、逃げ切りを図る。勝利に執念を見せるウインズは最終七回に五番藤田選手、六番大久保選手の連打で1点を返すものの後続が討ち取られ試合終了となった。スコアの通り、引き締まった投手戦を継投で乗り切ったホーネッツが開幕戦を勝利で飾った。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：松下照夫）



初回、堅守ウインズ内野陣が山崎選手の足を封じる。



初回、本塁上のクロスプレーで広木選手がホームイン！



五回表、俊足のホーネッツ山崎選手が盗塁死。



七回表、三塁打を放ったホーネッツの Mr 永島選手。



松尾選手が3点目のホームにスライディング！



敗れはしたが、好投のウインズ藤田投手と泉二塁手。



初回到勝利打点となる本塁打を放った四番広木捕手。

奈多グランド フェニックス1安打の完封リレー！

ブルーマーリンズ（1敗）00000 0 横山●-中村

奈多フェニックス（1勝）13510X 19 池見○、今林(勇)-実延

2BH：西藤（奈多フ）

一回表ブルーマーリンズは、四球のランナー出すも送りバント失敗にて無失点。その裏 フェニックスは、四球のランナー今林(勇)選手が相手の隙をつき三塁まで進むと実延(彰)選手がセンター前ヒットを放ち先制のタイムリー。その直後に連続四球にて横山投手が満塁のピンチ、ここで一気にたたみ掛けたいフェニックスだったがサード末松選手のファインプレーが飛び出し1点でこの回を終える。二回表、ブルーマーリンズ浜崎選手が右中間を破る打撃を見せ果敢に二塁を狙うもフェニックスの好守備に阻まれタッチアウト。後続も倒れこの回も得点奪えず。二回裏、横山投手が先頭打者に四球を与えると、ここから制球が乱れ二・三・四回と大量失点を献上してしまう。フェニックス池見投手は終始安定したピッチングを見せ、最後は今林(勇)投手へつなぎブルーマーリンズを完封し五回コールドゲームでフェニックスが初戦をものにした。

（記事：奈多クラブ 吉田貴史）



いざ開幕！



終始安定したピッチングをみせた池見投手。



制球に苦しんだブルーマーリンズ横山投手。



横山投手を助けた末松選手の好守備。



ブルーマーリンズ杉田選手が果敢に次の塁を狙うも・・・



惜しくもタッチアウト！



守備でも魅せるフェニックス西藤選手。



最後を締めたフェニックス今林(勇)投手。

第1週の編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

いよいよ平成26年度が開幕しましたね。

前日の雨の影響でグラウンド状態が悪い中、執行部、各チームの運営委員の協力で水抜き、土入れ、ポイント打ちなどグラウンドの整備がなされ、無事に開幕式と第1週目の試合が行われました。

青松園A第1試合塩浜ジャガーズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、開幕式でジャガーズ水流（つる）監督が今季の打倒ライナーズを掲げましたが、ライナーズ鳥越投手の前に初回の安打1本に抑え込まれました。また今季新加入でバッテリーを組んだ竹上捕手のリードも光り8-0の完封でした。ライナーズは女性の応援（マネージャーとして選手登録もされています！）もあり、肌寒いグラウンドの中、そこはとても暖かな光景が見られました。

青松園Bのソルトベイズ対奈多サンデーズ戦は、一、二回とヒットを集中させたサンデーズが4点差をつけ優位に試合を進めていたが、やはりもつれるこのカード。五回表に二死からソルト一番中村（健）選手の三塁打にWPと二番八柄選手の左越えHRで1点差として最終回、一死一三塁からWスチールを仕掛けるソルトだったが、これを今季からサンデーズに復帰した田中（俊）一塁手がホームで刺しサンデーズが辛くも4-5で逃げ切りました。ランナー同士の意思の疎通、スタートを切るタイミングの拙さが勝敗を分ける結果となりました。

青松園A第2試合の三苦ホーネッツ対新町ウインズ戦は、初回ホーネッツ四番広木選手が今季第1号HRを放つと効果的な追加点を挙げ、井手、矢野投手のリレーでウインズを1点に抑え3-1で勝利。20代を多く抱えるホーネッツは、5月で30歳になる稲葉選手をはじめ、ここ数年で続々と主力選手が30代になるので暫く黄金期が続く予感。足の負傷で昨年を棒に振ったウインズ野田選手が四番として出場しました。結果は出ませんが、久しぶりの実戦で心地よい汗がかけたことでしょう。同い年（40歳）の復帰はうれしいです。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対奈多フェニックス戦は、9安打17四死球のフェニックスが、池見、今林（勇）投手リレーで1安打完封し19-0の勝利。20代の選手が入ったブルーマーリンズですが今季も投手力に課題が大ですね。一方安定した投手力と打撃力のフェニックスは今年も上位に来るでしょう。

さあ、今年は晴れで始まった平成26年度の和白リーグですが、ここで三苦フレンズ生野猛選手の選手宣誓を。

宣誓。我々選手一同は、リーグ期間中怪我しないように、前日の深酒を慎み、試合中はフェアプレー精神の下、正々堂々と戦い、和白ソフトボールリーグを盛り上げていくことを誓います！

平成26年4月6日 三苦フレンズ主将 生野猛

力の限り戦って、素晴らしい一年にしましょう！